

2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社タカトリ 上場取引所 東
 コード番号 6338 URL http://www.takatori-g.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 岡島 史幸 TEL 0744-24-8580
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切り捨て）

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	3,001	23.1	156	—	244	—	170	—
2020年9月期第2四半期	2,438	△13.1	△150	—	△132	—	△217	—

（注）包括利益 2021年9月期第2四半期 173百万円（—％） 2020年9月期第2四半期 △198百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	31.24	—
2020年9月期第2四半期	△39.92	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	9,679	5,331	55.1
2020年9月期	8,533	5,168	60.6

（参考）自己資本 2021年9月期第2四半期 5,331百万円 2020年9月期 5,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	17.3	241	—	305	—	242	—	44.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	5,491,490株	2020年9月期	5,491,490株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	31,130株	2020年9月期	31,092株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	5,460,375株	2020年9月期2Q	5,460,398株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」といいます。）による経済活動制限や外出自粛ムードがサービス消費などの重石になるものの、巨額の経済対策や、緩和的な金融環境に支えられ、景気は回復し続ける見通しとなっております。欧州では、多くの国で活動制限が続いており、経済活動の正常化には時間を要する見通しとなっております。中国では、個人消費は活動制限により回復に遅れが生じているものの、積極的な経済対策を受けて固定資産投資の急回復や外需の拡大等により回復基調は継続しております。

一方、国内経済は世界的な半導体需要の持ち直しなどにより財輸出の回復は持続しているものの、緊急事態宣言の再発令に伴う個人消費の下振れを背景にマイナス成長となっております。また新型コロナワクチンの普及に時間を要するため、景気の急回復は期待できない見通しとなっております。

このような経済環境の中、当社グループが関わる電子機器事業につきましては新型コロナの影響や貿易摩擦の影響などがあるものの、ロジック・ファウンドリー（半導体受託製造）の旺盛な投資に加え、5Gスマートフォンの普及とデータセンター投資の増加にけん引され市場環境は回復傾向にあります。

このような状況の中、電子機器事業につきましては新型コロナの影響があるものの大口受注を獲得するなど堅調に推移いたしました。また、繊維機器事業につきましては低調に推移いたしました。

損益面につきましては、新型コロナの影響により停滞していた事業活動が徐々に再開されたことに加え、諸経費が減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,001百万円（前年同四半期比23.1%増）、営業利益は156百万円（前年同四半期は営業損失150百万円）、経常利益は244百万円（前年同四半期は経常損失132百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は170百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失217百万円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(電子機器事業)

ディスプレイ製造機器では、スマートフォン・タブレット端末向けディスプレイ市場が飽和状態にあり、各社とも中小型液晶・有機ELパネルへの新規投資を控えております。一方で、新型コロナの影響により遅延しておりました海外案件の新規装置の立上げ作業、既存装置の改造作業が再開されたことや、国内メーカー向けの車載、ウェアラブル端末ディスプレイ用の貼り合わせ装置も販売に寄与し、好調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。

半導体製造機器では、コロナ禍での販売受注活動への対応として取り組んでまいりました代理店との協力体制の構築、Web会議等によるサポート体制の強化から、スマートフォン向け電子部品、パワー半導体・ディスプレイ向け量産設備を国内外から受注・販売したことで堅調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。

新素材加工機器では、新型コロナの影響により販売受注活動が停滞していたことから、低調に推移いたしました。しかしながら、徐々に販売受注活動が再開され、2021年9月期下半期及び2022年9月期上半期に売上計上予定となるパワー半導体向けSiC材料切断加工装置の大口受注を獲得いたしました。

このような状況の中、販売額は減少いたしました。

その結果、売上高は2,865百万円（前年同四半期比28.0%増）、セグメント利益212百万円（前年同四半期はセグメント損失76百万円）となりました。

(繊維機器事業)

繊維機器事業では、アパレル市場において新型コロナの影響により市場環境の悪化、先行きの不透明感が影響し、設備の更新、増設が先送りされる状況が続いており、低調に推移いたしました。また、炭素繊維裁断機市場の冷え込みは継続し、一般産業素材向け裁断機においても低調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は減少いたしました。

その結果、売上高は109百万円（前年同四半期比42.8%減）、セグメント利益1百万円（前年同四半期はセグメント損失10百万円）となりました。

（医療機器事業）

医療機器事業では「胸腹水濾過濃縮装置M-CART」の医療機関への販売及びレンタル、試用貸出しを行いました。また、国内の医療機器メーカーより医療機器開発を受託し「人工心肺用温度コントロールユニット」の製造販売承認を取得いたしました。

新型コロナの影響による医療機関への不急な営業活動の自粛等により医療機器の販売受注活動が滞る中ではありましたが、OEM/ODMによる引合いの増加により前年同四半期を上回る受注を獲得いたしました。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。

その結果、売上高は26百万円（前年同四半期比196.1%増）、セグメント損失57百万円（前年同四半期はセグメント損失63百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,146百万円増加、9,679百万円（前連結会計年度末は8,533百万円）となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,181百万円増加し、6,838百万円（前連結会計年度末は5,656百万円）となりました。これは、主に現金及び預金が232百万円増加、受取手形及び売掛金が478百万円増加、たな卸資産が642百万円増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて35百万円減少し、2,840百万円（前連結会計年度末は2,876百万円）となりました。これは、主に建物及び構築物が40百万円減少、投資有価証券が6百万円増加等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて983百万円増加し、4,348百万円（前連結会計年度末は3,364百万円）となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,079百万円増加し、3,890百万円（前連結会計年度末は2,810百万円）となりました。これは、主に買掛金が663百万円増加、電子記録債務が260百万円増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて96百万円減少し、457百万円（前連結会計年度末は554百万円）となりました。これは、主に長期借入金が97百万円減少等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて162百万円増加し、5,331百万円（前連結会計年度末は5,168百万円）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益170百万円を計上したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて232百万円増加し、2,602百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加644百万円、仕入債務の増加923百万円及び前受金の増加30百万円があったこと等により、317百万円の収入（前年同四半期は76百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、貸付金の回収による収入80百万円があったこと等により、74百万円の収入（前年同四半期は238百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出97百万円及び配当金の支払額54百万円があったこと等により158百万円の支出（前年同四半期は164百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、新型コロナの感染拡大防止に取り組むとともに、当社ビジョンである「信頼されるタカトリ」の構築を目指すべく、事業を遂行していく企業グループであるとの認識のもと、従業員の安全を考慮した勤務形態を進めながら、可能な限り、通常と変わらないサービス提供を行えるよう対応に努めております。

2021年9月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナの感染拡大に伴う今後の影響が不透明であることから、現時点ではその影響を合理的に見積もることが困難なため、2020年11月11日に公表いたしました、業績予想を据え置き、修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,379,523	2,612,410
受取手形及び売掛金	1,699,961	2,178,158
電子記録債権	22,653	108,542
製品	48,242	34,113
仕掛品	854,472	1,511,102
原材料及び貯蔵品	326,059	326,104
その他	325,751	68,076
流動資産合計	5,656,665	6,838,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,110,125	1,069,608
土地	781,479	781,479
その他(純額)	167,963	149,384
有形固定資産合計	2,059,568	2,000,472
無形固定資産		
投資その他の資産	50,654	41,447
投資有価証券	428,173	435,042
繰延税金資産	219,756	244,377
その他	118,318	119,579
投資その他の資産合計	766,248	798,999
固定資産合計	2,876,471	2,840,919
資産合計	8,533,136	9,679,429

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	327,599	990,649
電子記録債務	492,637	753,296
短期借入金	1,400,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	194,996	194,996
未払法人税等	8,849	71,136
賞与引当金	32,051	123,017
その他	354,643	357,118
流動負債合計	2,810,776	3,890,215
固定負債		
長期借入金	487,504	390,006
資産除去債務	32,058	32,265
その他	34,461	35,674
固定負債合計	554,024	457,945
負債合計	3,364,800	4,348,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	2,835,906	2,996,093
自己株式	△17,342	△17,363
株主資本合計	5,134,115	5,294,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,311	38,300
為替換算調整勘定	△5,091	△1,313
その他の包括利益累計額合計	34,220	36,986
純資産合計	5,168,335	5,331,268
負債純資産合計	8,533,136	9,679,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	2,438,334	3,001,379
売上原価	2,047,476	2,316,209
売上総利益	390,858	685,170
販売費及び一般管理費	541,722	528,258
営業利益又は営業損失(△)	△150,863	156,911
営業外収益		
受取利息	2,037	1,555
受取配当金	205	3,237
受取賃貸料	3,512	3,477
受取ロイヤリティー	95	5,968
売電収入	4,653	4,926
補助金収入	10,020	67,762
その他	4,958	5,562
営業外収益合計	25,483	92,490
営業外費用		
支払利息	1,173	1,628
減価償却費	2,823	2,499
為替差損	2,677	—
その他	938	1,036
営業外費用合計	7,612	5,163
経常利益又は経常損失(△)	△132,993	244,238
特別損失		
関係会社株式売却損	47,390	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	47,390	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△180,383	244,238
法人税、住民税及び事業税	1,158	53,625
法人税等調整額	36,417	20,023
法人税等合計	37,575	73,649
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△217,959	170,589
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△217,959	170,589

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△217,959	170,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,984	△1,010
為替換算調整勘定	1,525	3,777
持分法適用会社に対する持分相当額	15,849	—
その他の包括利益合計	19,359	2,766
四半期包括利益	△198,600	173,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△198,600	173,355
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△180,383	244,238
減価償却費	78,297	75,226
賞与引当金の増減額 (△は減少)	92,403	90,966
受取利息及び受取配当金	△2,242	△4,793
支払利息	1,173	1,628
有形固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,064	△564,086
たな卸資産の増減額 (△は増加)	172,912	△644,385
仕入債務の増減額 (△は減少)	△177,502	923,710
前受金の増減額 (△は減少)	99,113	30,880
その他	△26,783	168,905
小計	54,923	322,289
利息及び配当金の受取額	411	6,381
利息の支払額	△1,164	△1,606
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	22,322	△9,593
営業活動によるキャッシュ・フロー	76,492	317,471
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,482	△4,711
投資有価証券の取得による支出	△217,419	△1,199
短期貸付金の回収による収入	—	80,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238,902	74,088
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△102,526	△97,498
リース債務の返済による支出	△7,602	△6,695
自己株式の取得による支出	—	△20
配当金の支払額	△54,765	△54,699
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164,894	△158,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	738	240
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△326,565	232,887
現金及び現金同等物の期首残高	1,851,904	2,369,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,525,338	2,602,410

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナの影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。各地域での感染拡大の収束、経済活動再開に伴い当社グループの需要は徐々に回復していくものと想定しております。

固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性については、新型コロナの影響を考慮して見積り及び判断を行っておりますが、当第2四半期連結会計期間末時点において固定資産の減損の兆候は識別しておらず、また繰延税金資産の回収可能性について前連結会計年度末時点の判断の見直しは不要であると判断しております。

なお、新型コロナの収束時期は不透明であり、上述の仮定が見込まれなくなった場合には固定資産の減損損失及び繰延税金資産の回収可能性の見直しの可能性があります。

(重要な後発事象)

新型コロナの感染拡大により緊急事態宣言が日本政府より発出され、当社グループの翌連結会計年度以降において財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があります。影響額については、提出日現在では算定することが困難であります。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

セグメントの 名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)		前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	2,306,807	90.7	2,736,358	95.3	4,492,236	92.1
繊維機器事業	226,255	8.9	109,428	3.8	311,824	6.4
医療機器事業	9,051	0.4	26,798	0.9	73,218	1.5
合計	2,542,114	100.0	2,872,584	100.0	4,877,279	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

セグメントの 名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)		前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
電子機器事業	2,483,274	1,847,601	5,095,773	3,843,382	4,482,912	1,612,761
繊維機器事業	156,650	49,623	103,052	71,032	305,053	77,408
医療機器事業	53,992	45,004	162,067	157,325	95,211	22,056
合計	2,693,918	1,942,229	5,360,893	4,071,740	4,883,178	1,712,226

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

セグメントの 名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)		前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	2,238,077	91.8	2,865,153	95.5	4,472,556	92.1
繊維機器事業	191,205	7.8	109,428	3.6	311,824	6.4
医療機器事業	9,051	0.4	26,798	0.9	73,218	1.5
合計	2,438,334	100.0	3,001,379	100.0	4,857,598	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 主要な輸出先及び輸出販売高及び構成比は、次のとおりであります。なお、()内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)		前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
アジア	672,411	84.1	1,418,691	89.5	1,651,759	80.1
その他の地域	126,695	15.9	165,820	10.5	410,004	19.9
合計	799,107 (32.8%)	100.0	1,584,511 (52.8%)	100.0	2,061,764 (42.4%)	100.0